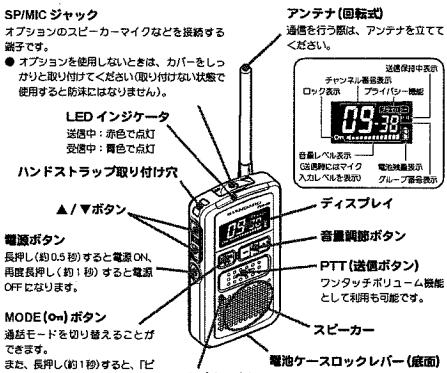


基本的な使いかた

各部の名前



最初の会話をいかがですか

本機には、状況に応じて選べる3つの通話方法(ノーマルモード、グループモード、プライバシーモード)があります。通話がなさないモードでも同じく、ここでは、基本となるノーマルモードの通話方法を説明し、グループモードについては、右記の「グループモードの設定」を行ってから、下記の方法で通話してください。

● 選ぶチャンネルは、合計20チャンネル(～9、01～11)です。



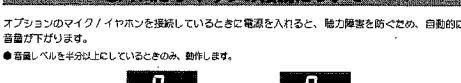
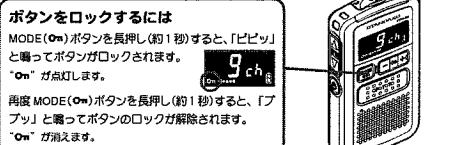
● 相手の声を聞きながら、音量調節ボタンで音量を調整してください。
● 連続して送信できる時間は3分以内です。
3分間連続して送信すると、送信自動停止になります。
なお、送信が停止する30秒後になると、ディスプレイに「n」でカウントダウン表示され、送信が停止する10秒前には、「ピピッ」と音が鳴ります。
また、送信が停止した場合、その後の再発はPTT(送信ボタン)を押しても「フーフーフーッ…」と警告音が鳴り続けます。

● 相手の返信を受信しているときは、送信できません。
LEDインジケーターが赤色に点滅しているときは、PTT(送信ボタン)を押しても「ブーッ…」と警告音が鳴るだけで、送信できません。

ボタンロックをする

落っこちボタンに触れても、チャンネルなどが変わらないようにすることができます。

- 工場出荷時のみ、▲▼ボタンとMODE(On)ボタンがロックされています。
- 音量調節ボタンの「-」を押しながら電源を入れると、音量調節ボタンがロックされるようになり、音量調節ボタンの「+」を押しながら電源を入れると、音量調節ボタンはロックされなくなります。
- ボタンをロックする、セットメニューの変更やキーロックもできません。



● 音量レベルを半分以上にしているときのみ、動作します。

● 音量レベルを半分以下にしているときのみ、動作しません。

SP/MIC ジャックの接続について
オプションのマイク / イヤホンを接続しているときに電源を入れると、騒音障害を防ぐため、自動的に音量が下がります。

● 音量レベルを半分以上にしているときのみ、動作します。

ベルトクリップの取り付けや取り外しの方法

ベルトクリップは、取り外したり、向きを変えて取り付けることができます。

ベルトクリップを取り外すときは、ネジをコインやドライバーを使用して外して取り外してください。

ベルトクリップを取り付ける際は、使用中に外れることがあります。ネジをしっかりと取り付けてください。

● ベルトクリップを横向きに取り付ける場合は、アルカリ3乾電池ケース(JCPLN001)の取り付け/取り外しを行う際は、一旦ベルトクリップを外してください。

● 電池ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を切ります。

● MODE(On)ボタンと左側面の▼ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

● 現在設定されているDCSコード「d00x」が点滅するので、▲または▼ボタンを押して、「OFF」(解除)または別のDCSコードを選択します。

● PTT(送信ボタン)を押します。

DCSコードが設定されると、ノーマルモードに戻ります。

● DCSコードの確認

● 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。

● MODE(On)ボタンと左側面の▼ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

● 現在設定されているDCSコード「d00x」が点滅します。

● 電源ボタンを押します。

DCSコードが設定されると、ノーマルモードに戻ります。

● 同じチャンネルで同じコードナンバーが他の使用者に使われているときは、「グループモードの設定」を参照して、専用同士専用のグループ番号に替えてください。

● 他のグループの人が同じチャンネルを使って通話している時は、音声は聞こえませんが、要確認になります。

便利な使いかた

通話モードの切り替えかた

電話を行なうモード(通話モード)として、次の3通りの方法があります。

状況に応じて使い分けください。

● ノーマルモード => 他のグループの通話が聞こえる心配がないとき。
● グループモード => 他のグループの通話が聞こえてわずらわしいとき。
● プライバシーモード => 他の人に通話を聞かれたくないとき。

● 選ぶチャンネルは、合計20チャンネル(～9、01～11)です。

通話モードを切り替えるには
MODE(On)ボタンを押すたびにモードが切り替わります。
初期設定は「ノーマルモード」に設定されています。



グループモードの設定

同じチャンネルで他のグループの通話が聞こえてわずらわしいそんな時に、あらかじめ同じグループ番号に設定してあとは専用同士の音声が聞こえます。

グループモードになると、受信者の「n」を音で届けて聞きやすくなります。オプションのタイピンマイク&イヤホン、スマートマイクやイヤホンを使用される場合は、グループモードで使用されることをおすすめします(詳細は「セットメニューによる機能設定」の「セットメニューによる機能設定」を参照ください)。



① MODE (On) ボタンを押す
グループモードにします。

② 電源を切る
電源ボタンを長押し(約1秒)すると、電源が切れます。

③ MODE (On) ボタンを押しながら電源を入れる
セットメニューの「GP-01」が表示されます。

④ グループ番号を選ぶ
▲または▼ボタンを押して「01～3B」の中から任意のグループ番号を選択します。

⑤ PTT(送信ボタン)を押す
セットメニューの設定が終了しました。

左記の「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。

他人の通話が聞こえる場合は、グループ番号を変更してください。

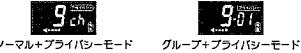
プライバシーモードの設定

プライバシーモードに設定していないときは、通話内容を聞き取れなくなります。

● プライバシーモード = ノーマルモード、グループモードのどちらでも通話することができます。
● 同じチャンネルでプライバシーモードを使いたい場合は、専用内蔵を聞くことができる場合があります。
● プライバシーモード = 専用内蔵トランシーバーでの、機種を違うと、交信できない場合があります。

● 「プライバシーモード」が点滅するまでMODE(On)ボタンを何度も押します。

● 「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。



セットメニューで設定する便利な使いかた ①

PTT(送信ボタン)を押さなくても、話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると受信状態に戻ります。

① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。

② MODE(On)ボタンをしながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

③ 「Pb-Off」が表示されるまで、MODE(On)ボタンを何度も押します。

④ PTT(送信ボタン)を押します。

設定操作を行なった状態に戻ります。

● VOX機能や既報音機能を、セッティングモードで確認できます。

● VOX機能と既報音機能を同時に利用することはできません。

送信状態を保持する ～PTTホール機能～

PTT(送信ボタン)を一度押すと、再度PTT(送信ボタン)が押されるまで、送信状態を保持させることができます。

① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。

② MODE(On)ボタンをしながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

③ 「Pb-Off」が表示されるまで、MODE(On)ボタンを何度も押します。

④ PTT(送信ボタン)を押します。

設定操作を行なった状態に戻ります。

● VOX機能や既報音機能を、セッティングモードで確認できます。

● VOX機能と既報音機能を同時に利用することはできません。

既報音を切り替える

アクサリの外部マイクを使用している時、PTT(送信ボタン)を押すと、同時に設定した音量に上げます。またほかの音量を戻すことができます。

① 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。

② MODE(On)ボタンをしながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

③ 「Pb-Off」が表示されるまで、MODE(On)ボタンを何度も押します。

④ 左側面の▲または▼ボタンで、希望の音量レベルを選びます。

● VOX機能や既報音機能を、セッティングモードで確認できます。

● VOX機能と既報音機能を同時に利用することはできません。

通話可能か確認チェック～グループモード～

グループモード時に、あらかじめ下記の設定を行っておくと、「通話できる範囲にいるか」または「電源を切っているか」が確認できます。

① MODE(On)ボタンを押してグループモードにします。

併せて同じく同じグループ番号を設定しておきます。

② 電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。

③ MODE(On)ボタンをしながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

④ MODE(On)ボタンを長押しして「cb-off」を選択します。

⑤ 通話(PTT)スイッチを押します。

セッティングメニューの設定が終了した、ディスプレイに「cb-off」と「グループ番号」が交互に点滅します。

⑥ 左記の「基本的な通話のしかた」と同様に通話します。

● 通話可能確認するには(電子音とディスプレイの表示で確認できます)

既報音が鳴った後の「cb-off」と「グループ番号」が交互に点滅する

● 和音と通話できる範囲にいる
● 相手の電源が入っている

● 和音が鳴った後、「cb-off」と「グループ番号」が交互に点滅する

● 同じチャンネルで同じコードナンバーが他の使用者に使われているときは、「グループモードの設定」を参照して、専用同士専用のグループ番号に替えてください。

● 他のグループの人が同じチャンネルを使って通話している時は、音声は聞こえませんが、要確認になります。